

2021.7.1
日本銀行山形事務所

今回山形短観における主な判断、事業計画の動き (2021年6月調査)

1. 業況判断

6月調査では、非製造業が悪化したものの、製造業が改善したため、全産業では0と前回調査から3ポイント改善した。因みに、前回調査では悪化、水準は▲10を予測していた。

製造業・・・化学や輸送用機械が横ばいとなったが、はん用・生産用・業務用機械、電気機械が改善したため、全体では11と前回調査から18ポイントの改善となった。前回調査では、水準は▲7を予測していた。

非製造業・・・宿泊・飲食・対個人サービスが横ばいとなったほか、対事業所サービス、運輸・郵便、情報通信が改善したものの、卸・小売、電気・ガス、建設が悪化したため、全体では▲10と前回調査から▲10ポイントの悪化となった。前回調査では、水準は▲13を予測していた。

先行き(2021年9月予測)は、製造業、非製造業とも悪化するため、全産業では▲3と▲3ポイントの悪化を予測。

2. 売上・収益計画

(1) 売上高

2020年度(実績)は、製造業は前年度比▲7.1%の減収、非製造業は同▲4.1%の減収となり、全産業では同▲5.7%の減収となった。

前回調査との比較では、製造業(修正率0.4%)、非製造業(同1.0%)とも上方修正され、全産業では0.7%の上方修正となった。

2021年度(計画)は、製造業は前年度比6.6%の増収、非製造業は同0.4%の増収となり、全産業では同3.7%の増収計画。

前回調査との比較では、製造業(修正率0.5%)、非製造業(同0.9%)とも上方修正され、全産業では0.7%の上方修正となった。

(2) 経常利益

2020年度(実績)は、製造業は前年度比▲28.4%の減益、非製造業は同5.3%の増益となり、全産業では同▲19.6%の減益となった。

前回調査との比較では、製造業（修正率5.8%）、非製造業（同70.1%）とも上方修正され、全産業では21.5%の上方修正となった。

2021年度(計画)は、製造業は前年度比18.2%の増益、非製造業は同▲22.6%の減益となり、全産業では同4.2%の増益計画。

前回調査との比較では、製造業（修正率▲1.7%）は小幅下方修正の一方、非製造業（同23.4%）は上方修正され、全産業では3.7%の上方修正となった。

3. 設備投資額（含む土地投資額）

2020年度(実績)は、製造業は前年度比▲39.0%の減少、非製造業は同2.2%の増加となり、全産業では同▲20.5%の減少となった。

前回調査との比較では、製造業（修正率5.9%）、非製造業（同3.7%）とも上方修正され、全産業では4.6%の上方修正となった。

2021年度(計画)は、製造業は前年度比83.1%の増加、非製造業は同77.7%の増加となり、全産業では同80.0%の大幅な増加計画。

前回調査との比較では、製造業（修正率6.7%）、非製造業（同90.3%）とも上方修正され、全産業では42.3%の上方修正となった。

4. 雇用

雇用人員判断・・・ 製造業で「不足」超幅が拡大したものの、非製造業で「不足」超幅が縮小したため、全産業では「不足」超▲17と前回調査比「不足」超幅が僅かに縮小した。先行き（2021年9月予測）は、全産業で「不足」超幅が拡大する予測。

新卒採用計画（全産業）・・2021年度は、前回調査（2020年12月調査）から上方修正（修正率1.3%）されたものの、前年度を下回る計画（前年度比▲3.5%）。

2022年度は、前年度を下回る計画（同▲4.1%）。

以 上